

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370501302
事業所名	ふれあいタウン中村

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、建物のオーナーからも地域の情報を教えてもらい、地域行事に参加している。中学生の職場体験や大学生の実習を受け入れており、入居者は実習生の来訪をととても楽しみにしている。また、職員の子どもや定期的なボランティア(落語・手品・腹話術・オカリナなど)の訪問もあり、入居者の楽しみになっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	入居者、家族、歯科医師、地域代表、有識者に加え、12月にいきいき支援センター職員の参加を得て、偶数月に開催している。会議では入居者の状況や行事、イベント、外部評価の結果等を報告し、日々の変化や注意事項などについて話し合っている。インフルエンザや脱水・火災など注意することを事前に取り上げ、メンバーからアドバイスを心得て未然に防ぐことができている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	区役所には認定の更新や毎月発行している「ふれあいタウン通信」を持参して、月に数回訪問している。その際、情報収集や相談を行い、担当者との連携を深めている。昨年12月に火災通報装置と火災警報装置を設置したが、その手続きで市役所に数回出向いた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	職員は日々の関わりの中で入居者の意見や要望を聴いている。入居者の日常的に出る要望に対しては、すぐに実行できるよう努めている。独居の入居者が多いので家族からの要望や意見はほとんどない。家族には、毎月発行している「ふれあいタウン通信」を郵送している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。